

高知県感染症発生動向調査（月報）

2018年3月

高知県感染症情報センター

高知県衛生研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第9週(2月26日～)から第13週(～4月1日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における3月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると71.63で2月の185.80と比べて減少した。これは、インフルエンザが減少したことを反映している。

1位はインフルエンザで4週換算値が37.49(2月1位152.00)と著しく減少した。2位は感染性胃腸炎で19.02(同2位18.69)、3位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.81(同3位9.99)、4位は流行性角結膜炎で2.26(同4位2.34)、5位はRSウイルス感染症で1.58(同5位1.57)と全て横ばいだった。6位はロタウイルス胃腸炎で1.48(同10位0.58)と増加した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	9週	10週	11週	12週	13週	計
1	インフルエンザ	17.42	12.05	8.65	5.35	3.39	46.86
2	感染性胃腸炎	4.84	5.00	5.01	4.43	4.50	23.78
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.60	2.64	2.69	2.27	2.06	12.26
4	流行性角結膜炎	0.59	0.53	0.54	0.53	0.63	2.82
5	RSウイルス感染症	0.38	0.41	0.44	0.38	0.36	1.97
6	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	0.31	0.28	0.41	0.43	0.42	1.85

県内情報

全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の3月の上位6疾患の合計は4週換算すると65.58で、2月の234.87と比べてきわだって減少し、全国よりも少なくなった(表2)。減少の原因は、インフルエンザの減少である。今季(2017/18)は、全国的にパンデミックの2009/10シーズンを上回る大きな流行になった。とくに高知県は、都道府県別定点当たり報告数が、2月に全国第一位の流行であった。今季の流行の特徴は、インフルエンザB型の流行開始が早く大規模だったこと、B型としてYamagataとVictoriaが、A型としてAH3 NT、AH1pdm09の合計4亜型のウイルスが流行を形成し、インフルエンザに2回罹患する者も多くみられた。

1位はインフルエンザで4週換算値が41.26(同1位211.94)と減少したが全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で16.05(同2位12.97)と増加したが全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.11(同3位6.24)と減少し、全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で1.25(同4位1.69)と減少し全国よりも少なかった。5位は手足口病で1.01(同5位1.14)と減少したが全国よりも多かった。6位は突発性発疹で0.90(同6位0.89)と横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	9週	10週	11週	12週	13週	計
1	インフルエンザ	23.23	13.60	8.00	4.46	2.29	51.58
2	感染性胃腸炎	3.33	3.13	5.50	4.30	3.80	20.06
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.43	1.33	1.33	1.33	0.97	6.39
4	RSウイルス感染症	0.33	0.20	0.40	0.40	0.23	1.56
5	手足口病	0.20	0.27	0.43	0.13	0.23	1.26
6	突発性発疹	0.13	0.30	0.27	0.23	0.20	1.13

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 2,476名(2月 10,173名)。今季は全国よりも遅れて流行期に突入した。高知県全体として2018年の第2週に31.73と警報レベルを超えた。12月はパンデミックの流行時(2009年)に次いで多い報告数であり、このことは早い流行となったことを意味していた。1月は過去10年の全ての月別統計のなかで2015年1月に次いで2番目に多い報告数であった。2月はさらに増加し、月毎の最多記録をぬり替えた。2017/18シーズン全体としての流行規模も大きなものとなり、パンデミックの2009/1010シーズンを上回り、過去10年で最大の流行になった。定点当たり報告数の都道府県別集計で、2月に高知県は211.94という高い値を示し、全国第一位だった。週毎にみると6週67.67をピークに以後は減少を続けており、流行終息に向かっているようだ。しかし、3月の集計は県下全域でまだ警報値30を超えており、多いのは中央西、須崎、高知市、幡多、中央東、安芸の順である。ウイルスとして、AH3 NTが7件、B Yamagataが4件検出された。

今季の流行の特徴は、1) 過去10年間で最大の報告数を記録したこと、2) インフルエンザB型の検出率が流行開始時から多かったこと(例年はA型の流行が先行し、遅れて春先にB型が流行することが多いのと対照的)、3) 4つの異なる亜型のウイルス株が流行し、しかも優勢のウイルス株が目まぐるしく変動したこと、である。今季、県下で12月以降に検出されたウイルスを集計すると、はAH3 NTが37件、B/Yamagataが34件、AH1pdm09が31件、B/Victoriaが6件検出された。複数回インフルエンザに罹患者が多くみとめられ、A型→B型、B型→B型というふうに短期間に2回インフルエンザに罹患する者も少なくなかった。

2) 咽頭結膜熱

報告数 24名(2月 17名)。この時期としては平年並みの数である。須崎、高知市、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 192名(2月 187名)。平年並みの報告数である。県下全域から報告があり、高知市、須崎からの報告が多い。細菌は*Streptococcus pyogenes* T1、T3を各1件検出した。

4) 感染性胃腸炎

報告数 602名(2月 389名)。前月より増加したものの、本年1月以降3カ月連続で、この時期として過去10年間で最も少ない報告数で推移している。県下全域から報告があり、とくに中央東、安芸、高知市、須崎からの報告が多い。病原体は、Norovirus GII NTが1件、Astrovirus NT が1件検出された。

5) 水痘

報告数 11名(2月 20名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で減少している。2016年12月に一時増加したものの、その後減少して推移している。安芸、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 38名(2月 34名)。初夏に流行が始まる感染症で、昨年5月から流行が開始し、過去10年で最大の流行となった。7月は同時期として過去10年間で2010年に次ぐ2番目に多い報告数で、高知県全域で警報値5を大きく超えていた。8月以降は徐々に減少したが10月に下げ止まり、11月は再び増加したが12月以降は減少し以後は増減が波打っている。幡多、高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスはCoxsackievirus A6が5月に8件、6月に16件、7月に10件、8月、9月に各2件検出され、9月はCoxsackievirus A16が1件、Enterovirus 71が1件、その後はEnterovirus 71が10月4件、11月2件、12月1件、本年1月2件検出された。2月3月はウイルスは検出されなかった。前年5月以降は3種類の原因ウイルスが流行し、9~1月の流行を形成したのはEnterovirus 71であったが、危惧される脳幹脳炎の報告はされていない。

7) 伝染性紅斑

報告数 4名(2月 4名)。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移していたが、2017年の後半以降は同時期として平年並の報告数である。中央東、高知市から報告された。Human parvovirus B19は検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 34名 (2月 27名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 1名 (2月 2名)。例年6-7月から流行がみられる。幡多から1例報告された。ウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 6名 (2月 1名)。幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。昨年夏以降は、過去10年で最も少ない数字で推移しているが、増加しており今後注目したい。ウイルスは検出されていない。

12) RSウイルス感染症

報告数 47名 (2月 51名)。前年8-9月と季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間で月間報告数が最多であったが10月は減少に転じ11月以降は半減、1月以降は横ばいで推移している。県下全域から報告されたが、特に高知市、安芸、須崎が多かった。3月にウイルスは検出されていない。7月以降に検出されたウイルスを集計するとRSウイルスAが6件、Bが3件であった。

13) 流行性角結膜炎

報告数 2名 (2月 2名)。ここ3年間は一桁で推移している。ウイルスは検出されていない。

14) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (2月 1名)。中央東から50歳代前半の例が報告された。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

15) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (2月 1名)。前年から少ない報告数で推移している。

16) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 7名 (2月 6名)。すべて高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 19名 (2月 20名)。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (2月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成30年3月）

類型	病名	報告月			総計
		1月	2月	3月	
2	結核	4	11	14	29
4	レジオネラ症		1		1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1		3
	後天性免疫不全症候群	2		3	5
	ジアルジア症		1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3		9
	播種性クリプトコックス症	1	2		3
	梅毒	3	1	1	5
	百日咳	13	24	16	53
	総計	32	45	36	113

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2018年

3月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	140	417	873	382	238	426	2,476	10,173	2,445
小児科	咽頭結膜熱			18	1	4	1	24	17	23
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	11	127	13	14	21	192	187	340
	感染性胃腸炎	45	188	244	46	39	40	602	389	644
	水痘	7	1	3				11	20	40
	手足口病		4	10	2		22	38	34	2
	伝染性紅斑		3	1				4	4	14
	突発性発疹	1	8	18	2	4	1	34	27	54
	ヘルパンギーナ						1	1	2	1
	流行性耳下腺炎		1	3			2	6	1	27
	RSウイルス感染症	2	1	39	2	2	1	47	51	35
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2	2	1
STD	性器クラミジア感染症		1					1	1	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1					1	1	
	無菌性髄膜炎								1	1
	マイコプラズマ肺炎			7				7	6	12
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			4				4	1	3
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			3				3	6	3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	2	13				19	20	21
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									1
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		205	638	1,365	448	301	515	3,472	10,943	3,673
前月		421	2,032	3,932	1,359	935	2,264			
前年同月		116	710	1,320	325	229	973			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

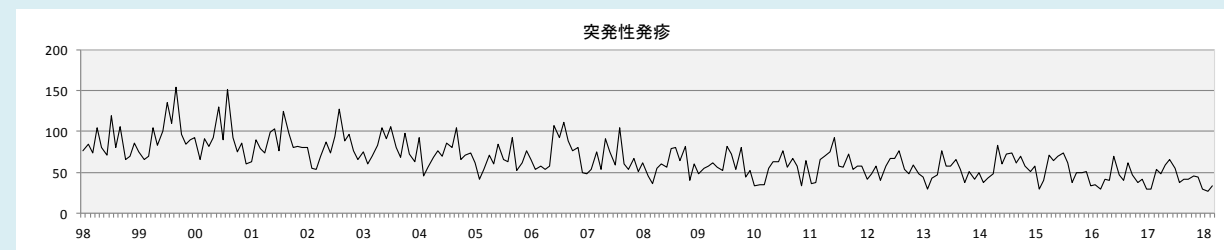
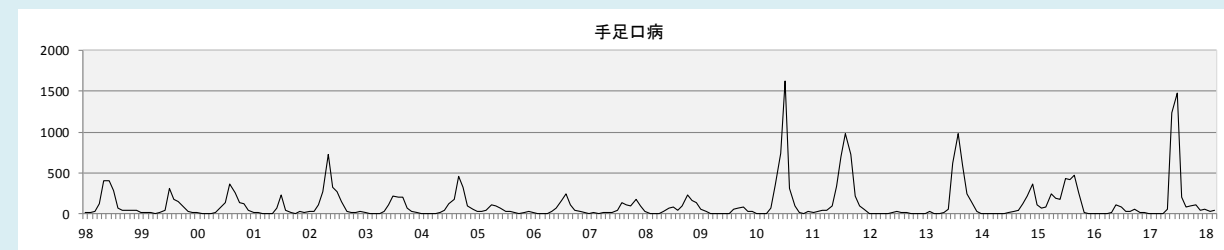
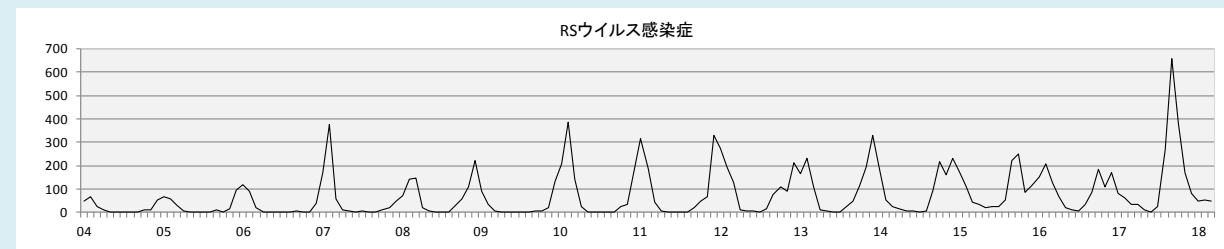
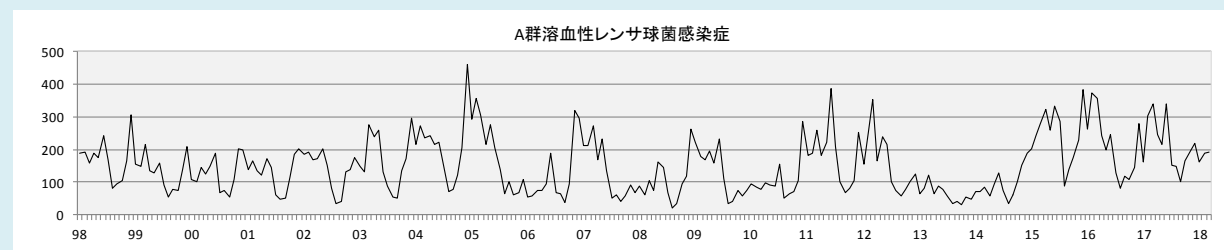
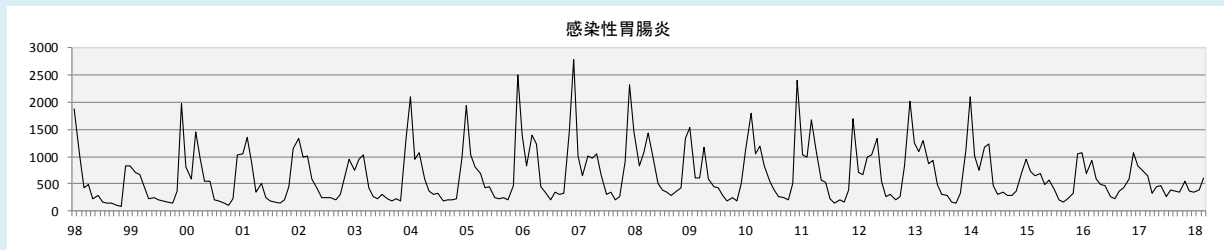
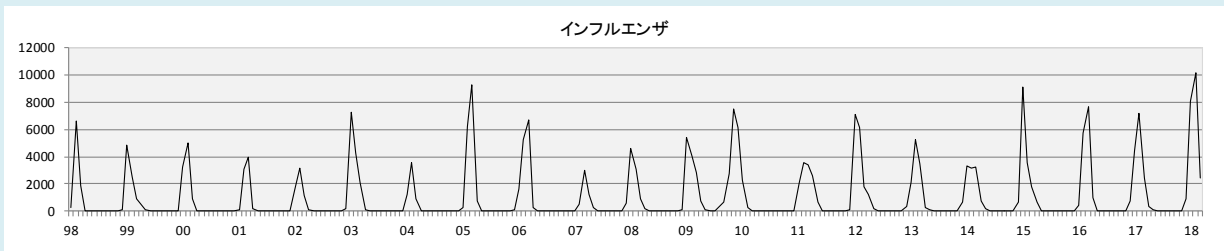
2018年

3月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	35.00	37.91	54.57	76.40	59.50	53.26	51.58	211.94	50.94
小児科	咽頭結膜熱			1.63	0.33	2.00	0.20	0.80	0.57	0.78
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	1.57	11.54	4.32	7.00	4.20	6.39	6.24	11.33
	感染性胃腸炎	22.50	26.86	22.19	15.33	19.50	8.00	20.06	12.97	21.47
	水痘	3.50	0.14	0.27				0.36	0.66	1.33
	手足口病		0.57	0.90	0.66		4.40	1.26	1.14	0.06
	伝染性紅斑		0.43	0.09				0.13	0.13	0.46
	突発性発疹	0.50	1.15	1.62	0.66	2.00	0.20	1.13	0.89	1.81
	ヘルパンギーナ						0.20	0.03	0.06	0.03
	流行性耳下腺炎		0.14	0.27			0.40	0.19	0.03	0.89
	RSウイルス感染症	1.00	0.14	3.55	0.66	1.00	0.20	1.56	1.69	1.17
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2.00				0.66	0.66	0.33
STD	性器クラミジア感染症		0.50					0.17	0.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13	0.13	
	無菌性髄膜炎								0.13	0.13
	マイコプラズマ肺炎			1.40				0.89	0.76	1.51
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.80				0.52	0.13	0.38
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.60				0.39	0.76	0.38
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	4.00	2.00	2.60				2.38	2.50	2.63
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症									0.13
	薬剤耐性緑膿菌 感染症									
小児科定点分計		65.50	68.91	96.63	98.36	91.00	71.06	83.49	236.32	90.46
前月		118.50	192.43	253.88	277.92	240.50	290.14			
前年同月		43.25	76.42	93.82	72.88	72.25	143.91			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成30年3月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

3月はウイルス56件、細菌2件の搬入があり、そのうちウイルス19件、細菌2件の病原体を検出し、また、平成30年2月に搬入された検体でウイルス2件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Astrovirus NT 1件、Cytomegalovirus 1件、Human herpes virus 6 1件、Human metapneumovirus 4件、Influenza virus A H3 NT 7件、Influenza virus B/Yamagata 4件、Norovirus G II NT 2件、また、細菌の内訳は、*Streptococcus pyogenes T1* 1件、*Streptococcus pyogenes T3* 1件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス, 細菌の検出
1	2	男	感染性胃腸炎	37°C, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	ふん便	2/6	Norovirus GII NT
2	11ヶ月	男	咽頭結膜熱	39°C, 下痢,	ぬぐい液	2/10	Adenovirus 2
3	1	女	EB疑い	39°C, 咳漱, 発疹,	ぬぐい液	2/27	Cytomegalovirus
4	9	女	呼吸器感染症	39°C, 咳漱, 気管支炎,	鼻咽腔ぬぐい液	2/28	Human metapneumovirus
5	11	男	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	3/1	Influenza virus A H3 NT
6	38	女	インフルエンザ	39°C, 関節痛,	ぬぐい液	3/1	Influenza virus B/Yamagata
7	2	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	3/2	Influenza virus A H3 NT
8	2	男	—	40°C, 腹痛, 発疹,	ぬぐい液	3/3	Human herpes virus 6
9	4	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	3/6	Influenza virus A H3 NT
10	76	女	インフルエンザ	37°C, 咳漱,	ぬぐい液	3/6	Influenza virus B/Yamagata
11	12	女	インフルエンザ	39°C, 下気道炎,	ぬぐい液	3/12	Influenza virus A H3 NT
12	3	女	インフルエンザ	40°C, 上気道炎,	ぬぐい液	3/12	Influenza virus A H3 NT
13	3	女	インフルエンザ	38°C, 下気道炎,	ぬぐい液	3/12	Influenza virus B/Yamagata
14	7	女	感染性胃腸炎	嘔吐, 嘔気,	ふん便	3/12	Norovirus GII NT
15	1	男	呼吸器感染症	39°C, 嘔吐, 嘔気, 咳漱,	鼻咽腔ぬぐい液	3/12	Human metapneumovirus
16	19	女	伝染性紅斑	40°C, 上気道炎, 発疹, 結膜炎,	鼻咽腔ぬぐい液	3/12	Human metapneumovirus
17	9	女	インフルエンザ	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	3/14	Influenza virus B/Yamagata
18	4	女	ヒトメタニューモ	40°C, 下気道炎,	ぬぐい液	3/19	Human metapneumovirus
19	5	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 下気道炎,	ぬぐい液	3/19	Influenza virus A H3 NT
20	8	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38°C, 上気道炎, 発疹,	ぬぐい液	3/22	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>
21	4	男	感染性胃腸炎	40°C, 下痢, 嘔吐, 嘔気, 腹痛, 咳漱,	ふん便	3/22	Astrovirus NT
22	9	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	3/26	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>
23	2	男	インフルエンザ	39°C, 咳漱,	ぬぐい液	3/28	Influenza virus A H3 NT

臨床診断名	病原微生物	2017年												2017年 総計	2018年			2018年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3		
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A														1				1
	Respiratory syncytial virus B								1						1				
	Coxsackievirus B4								1						1				
	計								2						2	1			1
水痘	Varicella-zoster virus													1	1				
	計													1	1				
突発性発疹	Cytomegalovirus					1									1				
	Human herpes virus 6				1			2							3	1			1
	計				1	1		2							4	1			1
その他	Adenovirus 1	1											1		2				
	Adenovirus 2							2		1				2	5	1			1
	Adenovirus 3	1													1				
	Adenovirus 4									1					1				
	Adenovirus B									1					1				
	Coxsackievirus A2	1											1		2				
	Coxsackievirus A6						3		3						6				
	Coxsackievirus A10													1	1				
	Coxsackievirus B1													1	1				
	Cytomegalo virus	3			2	1			1			1	1	1	10	1		1	2
	Echovirus 3			1						1					4				
	Echovirus 7					3	5	1							9				
	Echovirus 9						3	8	9						20				
	Echovirus 18													1	1				
	Enterovirus NT										3				3				
	Epstein-Barr virus	1				1		1							3	1	1		2
	Herpes simplex virus 1									1				6	7	1			1
	Human herpes virus 6	1			1	2		2	2	2	3	4			17	2	1	1	4
	Human herpes virus 7	2	1	1	1					1	2	4	1		13	1			1
	Human metapneumovirus		1							1					4	3	1	3	7
	Influenza virus A H1pdm09															1			1
	Influenza virus B Yamagata																2		2
	Norovirus GII NT		1											1	2	1			1
	Parainfluenza virus 2										1				1	1			1
	Parainfluenza virus 3				1	2	4	1		1					9				
	Parechovirus 1									1		1			2				
	Respiratory syncytial virus A		1								3	2			6				
	Respiratory syncytial virus B	1			1							2			4				
	Rhinovirus	1	1	1	1	3		2	1						10				
	Sapovirus genogroup unknown					1									1				
Varicella-zoster virus								1						1					
<i>Bordetella pertussis</i>										1				1					
	計	12	5	3	7	16	12	22	19	14	10	18	10	148	13	5	5	23	
	総計	56	43	26	21	36	42	48	47	26	22	29	28	424	97	30	21	148	

